

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	原発性乳癌組織における DFNA5 遺伝子のメチル化定量による臨床的意義の検証研究(B23-172)
当院の研究責任者 (所属・職位)	乳腺・甲状腺外科 主任教授 三階 貴史
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	乳癌は世界的に罹患率・癌関連死亡率が高い疾患です。近年の研究により外科的切除に加えて、サブタイプ別に薬物療法を併用し個別化治療を行うことで予後の改善に重要な役割を果たすことが明らかになっています。しかし、治療効果予測や術後再発予測など、病態を正確に反映する指標はありません。そのため、乳癌の予後バイオマーカーとして可能性が報告されている DFNA5 遺伝子に着目し、患者さんの予後との関連を解析することで、新たなバイオマーカーの発見の礎となることを目的としています。
調査データ 該当期間	2006年1月1日から2019年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	北里大学病院において、2006年1月1日から2009年12月31日の間に stage Ⅰ-Ⅲ の原発性乳癌と診断され乳房切除術を施行された患者さん。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2006年1月1日から2019年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は外科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されています。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下

	<p>記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学病院 乳腺・甲状腺外科 主任教授 担当者：三階 貴史（サンカイ タカフミ） 電話：042-778-8111</p>
備考	